

# 鶴ヶ島市からのお知らせ

2月9日 15:30 に、齊藤市長が川越新聞記者会に直接お伺いします

官民連携による交流拠点「(仮称)Nゲージとガーデンパーク」を整備します

市と株式会社関水金属は、官民連携事業として、工場敷地内の緑地と鶴ヶ丘児童公園の一体的な再整備を行います。工事は令和4・5年度の2か年で行い、令和6年度中に「(仮称)Nゲージとガーデンパーク」としてリニューアルオープンを目指します。



ふるさと納税のパートナー企業として連携を深めてきた市と株式会社関水金属は、同社が新たに鶴ヶ島市鶴ヶ丘地内に新工場建設を決めたことを契機とし、令和元年10月9日に包括連携協定を締結しました。同社の新工場は、周囲に塀を設けない地域に開かれた「まちなか工場」として、敷地内の緑地を地域住民などに広く開放いただく予定です。そこで、市は、隣接する鶴ヶ丘児童公園を一体的にリニューアルし、新工場と鶴ヶ丘児童公園の一体整備により生まれる「(仮称)Nゲージとガーデンパーク」を今後のまちづくりの新たな拠点として、アフターコロナを見据えた人々の憩い・にぎわい・交流の創出を目指します。

## 特長 「機関車」と「自然」が融合した『英国式ナチュラルガーデン』

- **機関車の展示・走行** ⇒ ふるさと納税返礼品(Nゲージ)との相乗効果による地域経済の活性化
  - ・ 敷地内に線路を設け、イベントなどの際に、同社が所有する機関車(軽便鉄道)を走行させます。
  - ・ 公園内に設置する機関庫(車庫)の中に機関車を展示・保管することで、いつでも本物の機関車と触れ合えるようにします。
- **ナチュラルガーデン** ⇒ 地域住民の健康づくり・生きがいづくり
  - ・ 植物が本来持つ自然な美しさを最大限に生かす「ナチュラルガーデン」をコンセプトに整備します。
  - ・ 地域住民と一緒に育て、地域に根差した「みんなの庭」となるような公園を整備します。

## 事業費 公園の整備費用として約1.5億円

- ・ 約1.5億円のうち、市は5,000万円を負担
  - ⇒ R4当初予算に設計分として500万円計上予定(残りの4,500万円は、R5予算に計上予定)
- ・ その他、周辺地域の活性化に向けた「まちづくり構想」を策定するための費用として、R4当初予算に1,210万円を計上予定

担当部署・連絡先 総合政策部 政策推進課 木下

TEL049-271-1111(内線441) ✉10200010@city.tsurugashima.lg.jp

※ 画像データの提供可能です